

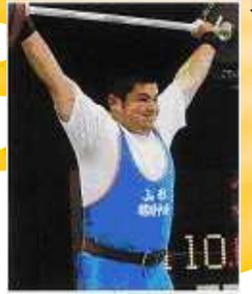
中央高校のトッププレイヤー達

インターハイ入賞! ウェイトリフティング・アーチェリー

平成16年7月28日から8月12日にかけて行われた平成16年度全国高等学校総合体育大会「中国04総体」に本校から、ウェイトリフティング・アーチェリー・陸上競技(男女円盤投げ)が山形県代表として参加し、力と技を競い合いました。その中でウェイトリフティングの佐々木樹選手が第5位、アーチェリーも団体戦で第5位に入賞する大活躍をしました。



写真提供
山形新聞



ウェイトリフティング
佐々木 樹 (温海中)



アーチェリー(左より)成田里美(鶴岡三中)、長谷川沙緒里(鶴岡二中)、五十嵐千穂(鶴岡二中)、中村雪美(鶴岡三中)、菅原萌佳(羽黒中)



瀬川 玲
(余目中)



新館 香
(松山中)

陸上競技

文化部も大活躍!

第28回全国高等学校総合文化祭(徳島大会)

平成16年7月30日から8月3日まで徳島県において全国高等学校総合文化祭が行われ、本校からは、書道(佐藤未央さん、鶴岡三中)、茶道(小川真衣さん、鶴岡一中)、郷土芸能(温海校)の3部門に参加しました。温海校の「天魄太鼓」は2年連続出場の栄誉をいただきました。

右の写真は書道部門に参加した佐藤未央さん(鶴岡三中)と出展作品です。



定期演奏会(吹奏楽部・合唱部)

5月29日(土)に吹奏楽部・7月26日(月)に合唱部の定期演奏会が行われました。どちらも楽しく素敵な演奏会で会場にいらした方の評判も上々でした。

編集後記

「時代は中央」とホームページの2つのメディアをスタートさせました。広報課として初の刊行物作成となり、試行錯誤を繰り返しながらとりあえず完成にまでこぎつけました。

何かすばらしい情報等ありましたら下記あてにご一報いただけたらうれしいです。
鶴岡中央高等学校(0235-25-5724)
〒997-0017 山形県鶴岡市大字宝寺字日本国410
ホームページアドレス <http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp/>
メールアドレス kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp
広報担当: 佐藤 茂, 井上 祐, 松浦政弘

手に汗にぎる接戦

夏の高校野球 对新庄北戦 延長12回 3-4で惜敗

7月19日(月)、前々日の大雨で予定よりも1日遅れで行われた夏の全国高校野球山形大会の2回戦、鶴岡中央高校对新庄北高校の対戦は初回3点をとり有利に試合運びましたが、8回に追いつかれ延長12回に勝ち越しの1点を入れられ3-4で惜しくも敗れました。



しかし、途中強くなる雨の中、野球部・応援団・全校生徒が一丸となり鶴岡中央高校の団結力を見せることができました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
鶴岡中央	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
新庄北	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4



活躍する生徒たち 学校祭 「震」仲間とともに 心を揺らせ!



時代は中央

発行
県立鶴岡中央高校
校長 菊地 善教
発行日
平成16年9月1日
(水)



「時代は中央」発刊によせて

校長 菊地 善教

この度、本校ではインターネット上にホームページを開発するとともに、広報紙「時代は中央」を定期的に発行して地域社会に本校の特色ある教育内容を広く情報発信していくことにいたしました。

地域の皆様の熱い期待を受けて本校が開校してから7年目を迎えます。普通科と総合学科を併設する全校生徒数900名を超す県内有数の大規模校として、地域に信頼され開かれた学校、生徒一人ひとりの良さや能力が思い切り発揮できる学校を目指して特色ある教育活動を展開してまいりました。生徒の進路希望は多様ですが、普通科・総合学科とも進学希望が多く、毎年卒業生の80%近くが大学等に進学しております。

部活動や生徒会活動も活発であり、今年は陸上部、アーチェリー部、ウェイトリフティング部、文化部では書道部と茶道部が全国大会に出場しました。このように、開校以来着実に教育実績を積み重ねてきておりますが、本校教育が地域社会の皆様から確固たる信頼と高い評価を得ていくためにはまだまだ克服すべき教育課題があります。これからは本校の教育活動に関する情報を積極的に提供発信してまいりますので、忌憚のないご意見、ご要望、ご批判をお寄せいただきますようお願いいたします。

校章は、本校開校に当たって、佐藤琢也氏(三川町出身・東北芸術工科大学卒業のデザイナー)に委嘱して作成されたものです。本校がめざす学校像・生徒像から、「若い力がしなやかに、力強く上昇すること」をイメージし、シンプルで親しみやすい形にデザインされています。

- 若い力がすくすくと育って、生徒一人ひとりが才能を伸ばし、その可能性の広がりを見せています。
- 生徒一人ひとりが夢や希望に向かって、力強くはばたき、上昇していくことを表しています。
- 鶴岡の頭文字である「T」を表しています。



シリーズ 鶴岡中央のカリキュラム①

～ 教育目標と普通科・総合学科 ～

鶴岡中央高校は山形県では唯一、普通科と総合学科の2学科が併設されている学校です。性質の違う2つの学科ではありますが、成長著しい高校生を育てるための基本理念に違いはありません。本校の教育目標は右の3つです。

これらの目標を普通科・総合学科それぞれの特色に生かしながら実現しています。

これから、普通科・総合学科の違いと特色について紹介していきたいと思ひます。

1 個性の尊重と調和

個性と磨くとともに、集団の一員としての調和のとれた行動力を備えた人間を育成する。

2 自主と自立

主体的に学習する態度を身につけ、生涯にわたって社会に貢献できる人間を育成する。

3 豊かな感性と創造力

自他を敬愛する精神と広い視野に立った洞察力を培い、感性豊かで創造力に富んだ人間を育成する。

総合学科

～ 自分を見つめる授業を軸に専門性に磨きをかけ
進路を切り拓く学科 ～

1年次の普通科目の基本の上に5つに分類された系列の中から自分に合った科目を選択し深化させます。このとき、選択の基準になるものは「自分」。自分の望むものやできることなど自分を見つめる時間を「産業社会と人間(1年)」「総合的な時間(2年)」「課題研究(3年)」という形で設定しています。

そして、ホームルーム担任だけでなく、5つの系列の先生が生徒の進路の相談やスキルアップをサポートする体制になっています。

普通科

～ 上級学校への進学をサポートする学科 ～

普通科は国公立の4年制大学への進学を可能にするために設置された学科です。

近年、センター試験に課される科目が増えたことに対応できるように「人文社会コース」では社会科目を、「自然科学コース」では理科科目を2科目勉強できるようになっています。

そのため大学でなくとも、たとえば看護師を目指す人の進学に対しても普通科の「自然科学コース」でサポートできるようになっています。

また、総合的な学習の時間(1年から3年まで週1時間)を「未来探求」と名付け、自分を見つめ、自分の望みを明確にして、自ら学ぶ意欲を醸成し、目的達成への主体的な態度の育成を目指しています。

